



Title	2011年度北方研究教育センターの活動
Author(s)	永山, ゆかり
Citation	北方人文研究, 5, 287-291
Issue Date	2012-03-31
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/49321">http://hdl.handle.net/2115/49321</a>
Type	bulletin (other)
Note	報告
File Information	18journal05-nagayamahokoku.pdf



[Instructions for use](#)

〈報 告〉

## 2011 年度北方研究教育センターの活動

永山ゆかり

北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

2011（平成 23）年度は小規模の講演会およびサイエンスカフェ等 8 件、シンポジウム 1 件のほか、3 回にわたり北海道大学文学部 1 階の展示スペース「書香の森」で企画展示を行なった。

### 1. 講演会等

#### 北方研究教育センターサイエンスカフェ「ツンドラカフェ」

2011 年度 5 月より、2～3 ヶ月に一度の頻度で一般市民を対象としたサイエンスカフェをアイヌ・先住民研究センターの後援を受けて開催している。原則として話し手は文学研究科に在籍する大学院生とし、一般の聴衆に向けて自分の研究内容や意義を平易な言葉で説明する訓練の場としている。話し手と来場者との双方向コミュニケーションを重視し、毎回大学院生等による 20 分程度の研究紹介の後、約 1 時間にわたり来場者からの質疑応答および討論を行っている。大学で行われている研究に触れる場として、市民と研究者の交流の場として、また研究者間の学際的な交流の場として歓迎されている（グラフ: アンケート集計結果参照）。

#### (1) 第 1 回ツンドラカフェ

「ウイルタのおばあちゃんと暮らした 1 年」

山田 祥子（文学研究科博士課程）

2011 年 6 月 4 日（土）14:00-15:30

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20110604.html>

#### (2) 第 2 回ツンドラカフェ（番外編）

「歴史から学ぶ、そのために未来に記録を残す—宮城県石巻市の体験から—」

永野 正宏（文学研究科修士課程）

コメンテーター 谷本 晃久（文学研究科准教授）

2011 年 7 月 30 日（土）14:00-15:30

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20110730.html>

#### (3) 第 3 回ツンドラカフェ

「見て、触れて、創るカムチャッカ先住民アート」

大澤 夏美（文学研究科修士課程）

2011 年 10 月 30 日（土）14:00-15:30

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20111015.html>



資料 1 第 1 回ツンドラカフェの様相

(4) 第4回ツンドラカフェ

「都市でゲルに暮らす — ウランバートル市民による街づくりの実践—」

滝口 良 (文学研究科博士課程出身)

2011年11月19日(土) 14:00-15:30

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20111119.html>

(5) 第5回ツンドラカフェ

「カムチャッカの伝統文化を歌い継ぐ — 先住民アリュートル民族の歌と踊り —」

リディア・チェチュリナさん (アリュートル語・文化伝承者)

2012年2月26日(日) 14:00-15:30

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20120226.html>



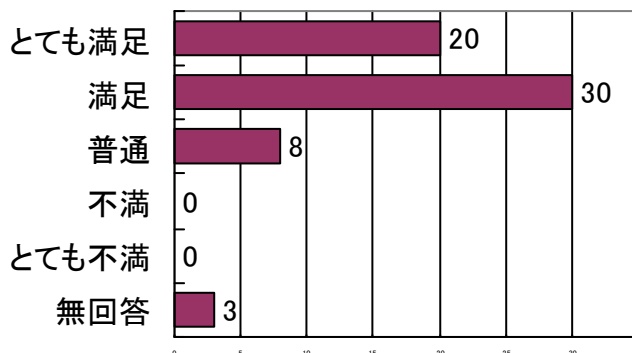
資料2 第1回ツンドラカフェポスター



資料3 第5回ツンドラカフェポスター

「ツンドラカフェ」アンケート集計結果(第1回~4回)

総合評価 (5段階) 4.21 (61件中)



グラフ：評価内訳

## 北方研究教育センター談話会

学内および市内の研究者を対象とした、専門性の高い研究会。平成23年7月から開始し、計4回開催、毎回学内および近郊在住の学生・研究者の参加があった。

### (1) Correlative Clauses with Interrogative in Udihe (ウデヘ語の疑問詞を伴う相関構文)

話し手：白 尚燁 (ベック・サンヤップ 文学研究科修士課程) (英語による。通訳なし)

2011年7月2日(土) 14:00-15:00

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20110702.html>

### (2) モンゴル語と満州語の関係について

講師：ハスバートル (中国・黒竜江大学満語研究センター教授) (中国語による。通訳付き)

2011年8月2日(火) 16:30-18:00

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20110802.html>

### (3) Theory of Written Sign and Practice of Deciphering the Jurchen Script

(女真文字の解読をめぐる：理論と実践)

講師 アレクサンドル・ペブノフ (ロシア科学アカデミー言語学研究所主任研究員)

(英語による。通訳なし)

2011年11月18日(金) 18:00-20:00

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20111118.html>

### (4) ロシア・トムスク州のシベリア言語研究

(言語ダイナミクス科学研究プロジェクト／北方研究教育センター談話会共催)

#### 1. Tomsk Program of Documentation of Siberian Indigenous Languages

Dr. Andrey Filtchenko (Tomsk State Pedagogical University)

#### 2. Code-switching in Eastern Khanty: sociolinguistic context of language change.

Dr. Olga Potanina (Tomsk Polytechnic University/Tomsk State Pedagogical University)

#### 3. General Discussion (英語による。通訳なし)

日時：2011年12月7日(水) 18:00-20:00

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/events/event20111207.html>

## 2. シンポジウム

池上二良先生追悼シンポジウム「北方言語研究の歩み」

2011年12月17日(土) 10:00-17:20

平成23年7月に逝去された池上二良先生(北海道大学名誉教授)の追悼シンポジウムを行った。第一部「北方言語研究の最前線」では先生に直接または間接的に指導を受けた北方諸言語研究者が専門的な研究発表を行ない、日本における北方研究の現状と課題を明確にした。第二部「池上先生の北方言語研究」では日本における北方諸言語の研究の第一人者であり、記述言語学の発展に多大な貢献をされた池上先生の業績をそれぞれの言語の専門家が再評価した。なお当日の8件の発表については、本号に論文・シンポジウム報告として収録した。



資料4 シンポジウムポスター

【プログラム】

- 第一部「北方言語研究の最前線」  
 シネヘン・ブリヤート語の「形動詞」  
 山越 康裕 (札幌学院大学)  
 ニヴフ語の複数表示  
 丹菊 逸治 (アイヌ・先住民研究センター)  
 アリュートル語の分詞 : テキストの用例から  
 永山 ゆかり (北方研究教育センター)  
 コリマ・ユカギール語の複合名詞をめぐって  
 遠藤 史 (和歌山大学)
- 第二部「池上先生の北方言語研究」  
 満洲語学 津曲 敏郎 (北方研究教育センター)  
 ウイルタ語学 山田 祥子 (北海道立北方民族博物館)  
 ツングース語学 風間 伸次郎 (東京外国語大学)  
 アイヌ語学 佐藤 知己 (北方研究教育センター)

3. その他

企画展示「北方スタイル ～シベリア先住民アートの世界～」

文学部・文学研究科1階「書香の森」において企画展示を行なった。文学研究科では言語学、文化人類学、考古学、歴史学、生態学などさまざまな分野の教員や大学院生がフィールドワークをおこなっている。この展示では3回にわたりフィールドのかおりあふれるシベリア先住民アートを紹介したほか、twitterでもバーチャル展示として写真を公開し、好評を博した。  
[http://twitpic.com/photos/cnh\\_hokudai?page=3#type=gallery](http://twitpic.com/photos/cnh_hokudai?page=3#type=gallery)

第1回カムチャッカ編：ファーとビーズのかわいい小物

2011年4月10日(日)～2011年5月6日(金)

カムチャッカに暮らすアリュートル人作家によるトナカイやアザラシの毛皮、鳥や魚の皮、セイウチの牙などを使ったさまざまな作品を紹介した。



資料5 「北方スタイル」第1回展示

第2回サハリン編：暮らしをいろどるうずまきハート

2011年5月6日（金）～2011年6月8日（水）

北海道の北隣りに位置するサハリン島の北部に暮らすニヴフ人、ウイльта人、エウエンキ人作家による作品を紹介した。現代も若手作家によりシラカバや魚皮・獣皮といった伝統素材のほか、伝統的なうずまきハート模様を現代的にアレンジした作品が作られている。

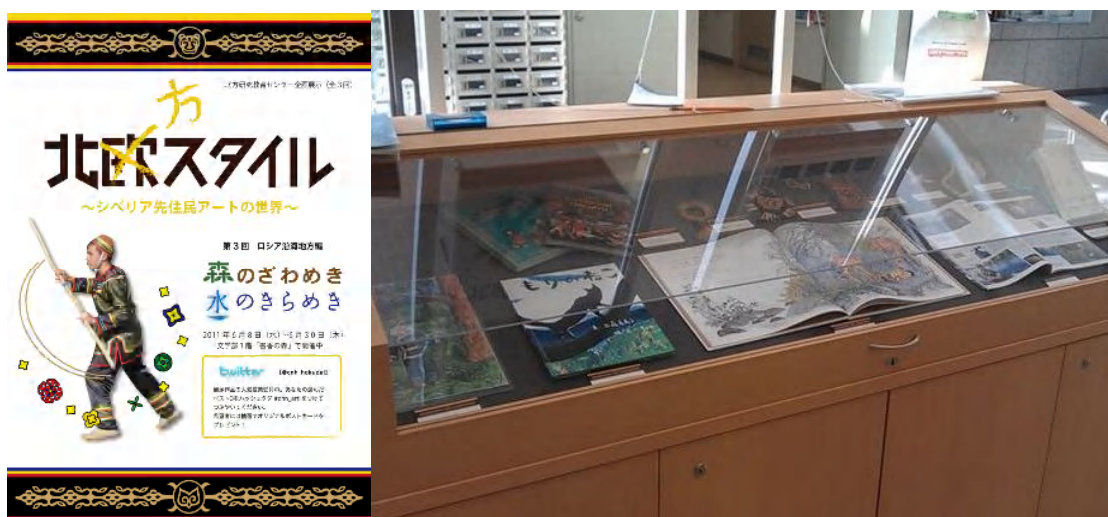


資料6 「北方スタイル」第2回展示

第3回ロシア沿海地方編：森のざわめき 水のきらめき

2011年6月8日（水）～2011年6月30日（木）

日本海を隔てた沿海地方に住むツングース系のウデヘ人の暮らしを題材にした絵本とウデヘ語教材を展示した。ウデヘの民話をもとに子どもたちが描いた絵による絵本の製作など、言語を子どもたちに伝えるための活動も紹介した。



資料7 「北方スタイル」第3回展示